



A TENDENCY OF CANCER

安芸福祉保健所 所長
鈴木 順一郎

62歳、高知市出身、岡山大学医学部医学科卒業、高知医科大学（現高知大学医学部）公衆衛生学助手を経て行政に入職。中村保健所から県内各地の保健所勤務を経て現職（5年目）。



高知県 健康政策部 安芸福祉保健所
〒784-0001 安芸市矢ノ丸1丁目4-36
高知県安芸総合庁舎
Tel: 0887-34-3175(代表)
Fax: 0887-34-3170



がん医療の今。

安芸福祉保健所 × 県立あき総合病院



当院におけるがん医療



県立あき総合病院 院長
前田 博教

89年宮崎医科大学（現宮崎大学）卒、同年高知医科大学（現高知大学）第二外科入局。98年ペンシルベニア大学留学。帰国後05年高知大学第二外科講師、10年同大学准教授を経て11年高知県立安芸病院院長、12年より現職。

高知県東部地域におけるがんの動向とがん対策

いま一生のうちで亡くなる第一位の原因はがんであり、推計によると概ね男女ともに2人に1人ががんと診断され、男性では4人に1人、女性では6人に1人ががんで死亡するとされています。若い世代も含めて本人や家族、社会にとっても大きな脅威となっています。

安芸保健医療圏においては、毎年240人前後のがんによる死亡があり、平成14年から10年間に肺がん41人、肝臓がん380人、胃がん345人、すい臓がん182人、大腸がん98人、乳がん62人、

高齢化が進んでいる安芸地域では、医療体制の整備も今後の需要に見合ったものにする必要があります。この地域の医療需要予測では、高齢者の方に多い病気、特にがんが今後多いことが考えられます。

実際に平成24年度に県立あき総合病院に入院された全入院患者さんの疾患別内訳をみても、がんやリンパ腫などの悪性疾患が一位となっています。このように

うに現在でも、がんの患者さんが多くいらつしやるのですが、今後はさらに増えていくものと思われま。

また、当院でのがんの手術件数も以前より大きな増加を見せています。胃がん・大腸がん・乳がん・肺がんなど、ここでできる手術はここでいい、術後の抗がん剤治療も今以上に進めていきます。



高知県立あき総合病院
〒784-0027 安芸市宝永町1-32
Tel: 0887-34-3111(代表)
Fax: 0887-34-2687

子宮がん41人の方が亡くなっています。全国に比べて過剰に死亡しているのですが、この10年間の過剰死亡数を単純に合計した、累積過剰死亡数は、男性で肝臓がん6665、すい臓がん2409、胃がん10109、女性で肝臓がん8602、大腸がん7265、子宮がん517となっています。

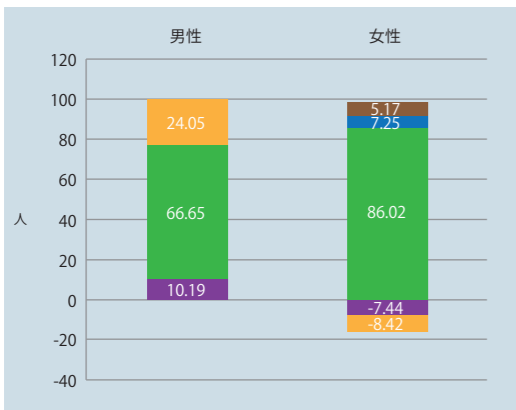
安芸地域では、肝臓がん対策が課題となっています。

高知県では第2期高知県がん対策推進計画(H25～29)を策定し、がん検診受診率(40～59歳)50%以上、受動喫煙率の低減(家庭3%以下、職場10%以下、飲食店1%以下)、肝臓検査の陽性者が適切な治療を受けているなどの具体的な目標を掲げ、がんから県民を守る施策を推進しています。ちなみに、平成23年度の40～59歳がん検診受診率は、胃がん35.6%、大腸がん46.4%、子宮頸がん44.0%、乳がん48.4%となっています。

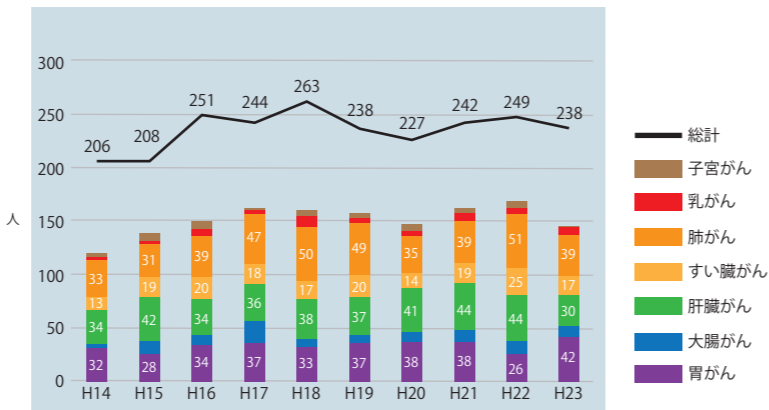
がんの治療は、県立あき総合病院のこの地域での使命の大きなひとつと考えています。新病院に向けてさらに体制を強化していきたいと思っています。

がんの治療は、県立あき総合病院のこの地域での使命の大きなひとつと考えています。新病院に向けてさらに体制を強化していきたいと思っています。

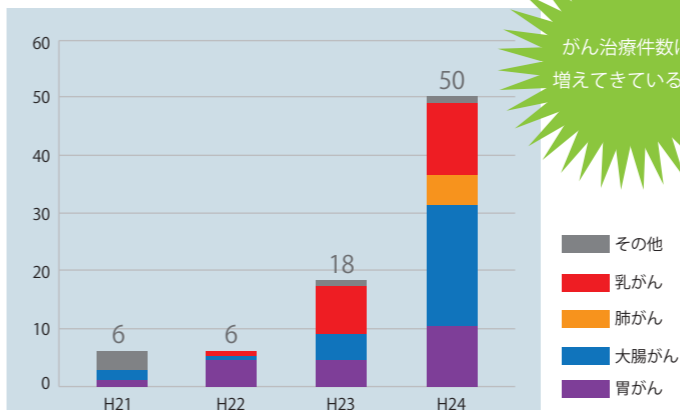
全国より死亡超過となっているがんと“累積過剰死亡数”（平成14年～23年）



安芸保健医療圏のがん死亡数の年次推移



あき総合病院のがん手術件数の推移



がん治療件数は増えてきている！

あき総合病院入院疾患別患者数(H24)

1	悪性腫瘍	169
2	肺炎	134
3	大腿骨骨折	112
4	腸閉塞	48
5	糖尿病	45
5	白内障	45
7	脊椎圧迫骨折	44
8	心不全	40
10	気管支炎	31
10	めまい症	31

※過剰死亡数とは、全国の平均と同じ割合で死亡した場合の死亡数(期待死亡数)から実死亡数を引いた値を示しています。高知健康づくり支援システムデータより作成。